



田辺三菱製薬



Daiichi-Sankyo

Press Release

2017年10月11日

アステラス製薬、田辺三菱製薬および第一三共による ドラッグリポジショニング化合物ライブラリーを用いた 新薬探索プログラム「JOINUS」の実施に関するお知らせ

-製薬企業の化合物を用いたオープンイノベーションによる日本発の創薬に向けて、
国内に研究拠点をもち製薬企業3社が連携-

アステラス製薬株式会社(代表取締役社長 CEO: 畑中 好彦、本社: 東京都中央区、以下「アステラス製薬」)、田辺三菱製薬株式会社(代表取締役社長: 三津家正之、本社: 大阪府中央区、以下「田辺三菱製薬」)および第一三共株式会社(社長: 眞鍋淳、本社: 東京都中央区、以下「第一三共」)は、オープンイノベーションの一環として、ドラッグリポジショニング化合物ライブラリーを用いた新たな疾患治療薬の探索プログラム「JOINUS」(ジョイナス: Joint Open INnovation of drUg repoSitioning)を共同で実施することにしましたので、お知らせします。

「JOINUS」プログラムでは、アステラス製薬、田辺三菱製薬および第一三共は、臨床試験または前臨床試験を実施後に開発を中止した化合物からなる化合物ライブラリーを構築しました。これをドラッグリポジショニング化合物ライブラリーとして、本プログラムに応募した国内研究機関に提供し、*in vitro*^{*1} 評価系を用いて評価していただきます。

一般に、ドラッグリポジショニングは、薬の再活用という概念で当初とは異なる適応を見出すことを目的とし、扱われる化合物は既承認薬や開発中止品など多岐にわたりますが、「JOINUS」プログラムでは発売まで至らなかった化合物を対象に、新薬としての開発を目指します。

これまでアカデミアに提供していた化合物ライブラリーは、化合物の構造多様性を考慮し、薬理活性や安全性が確認される前の化合物を含め幅広く集めたものでした。今回のライブラリーは、すでに非臨床試験で薬理活性が認められており、基本的な安全性も確認されているものであるため、新しい薬効評価系で活性が認められた場合には、従来の創薬と比べ、短期間で臨床試験まで進められることが期待されます。

アステラス製薬、田辺三菱製薬および第一三共は、このたび構築したドラッグリポジショニング化合物ライブラリーを用いて国内研究機関とのオープンイノベーションを推進することにより、新たな疾患治療薬開発の可能性が向上することを期待しています。

「JOINUS」の概要

公募対象：国内研究機関（大学、公的研究機関、ベンチャーを含む企業等）に所属している研究者で応募内容の研究を日本国内で遂行可能な方

提供物：3社のドラッグリポジショニング化合物ライブラリー（50種類以上の作用機序）

「JOINUS」では研究資金の提供はございません

募集期間：2017年10月16日～2017年11月17日

選考期間：2017年11月20日～2018年2月16日

研究期間：契約締結日から原則1年以内

詳細については、各社ウェブサイトをご覧ください。（各社同じ記載内容です。申込みはどの会社からでも受付けております。）

- ・ アステラス製薬：<https://www.astellas.com/jp/a-cube/joinus/index.html>
- ・ 田辺三菱製薬：<https://open-innovation.mt-pharma.co.jp/joinus/>
- ・ 第一三共：<http://www.daiichisankyo.co.jp/corporate/rd/open/joinus/index.html>

以上

*1 *in vitro*: 試験管や培養器などの中で、ヒトや動物の組織を用いて生体内と同様の環境を人工的に作って薬物の反応を検出する試験のこと

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社

広報部

TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473

田辺三菱製薬株式会社

広報部

報道関係者の皆様 TEL: 06-6205-5119

株式市場関係者の皆様 TEL: 06-6205-5110

第一三共株式会社

コーポレートコミュニケーション部

報道関係者の皆様 TEL: 03-6225-1126

株式市場関係者の皆様 TEL: 03-6225-1125